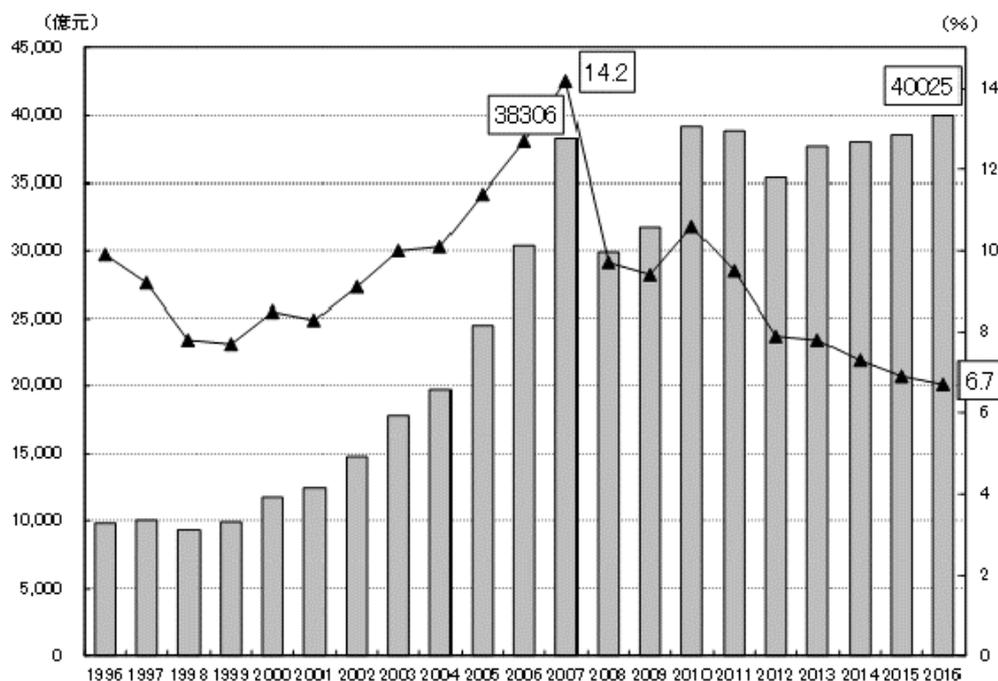


ERINA北東アジア研究叢書7発刊記念セミナー

# 中国経済の「新常态」 －構造変化・地域発展・国際連携

公益財団法人環日本海経済研究所  
調査研究部 穆 堯芊・南川高範

中国のGDP増加分(前年比)とGDP成長率の推移



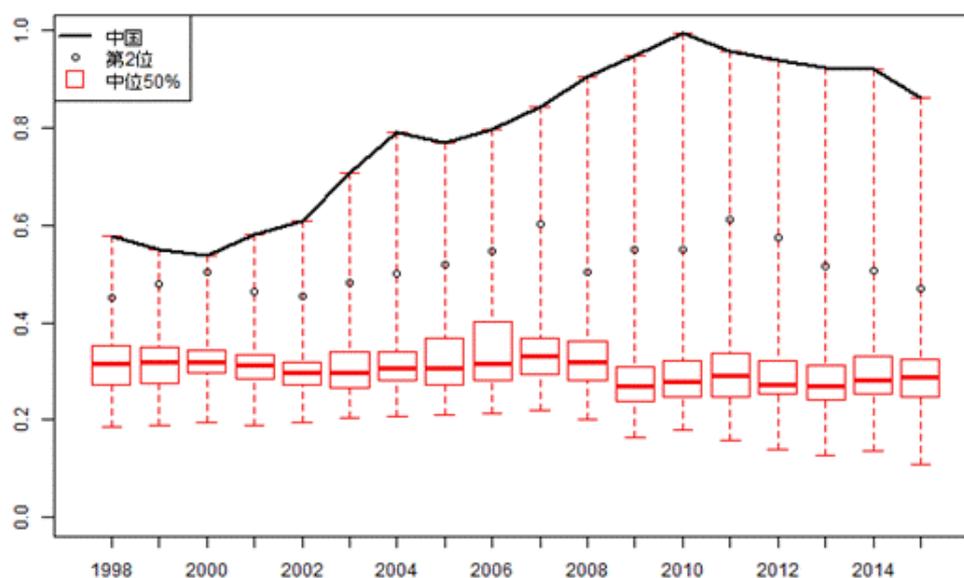
注: GDPは2010年を基準年とした実質値を取っている。  
出所: 中国国家统计局ウェブサイトのデータより筆者作成

## 近年中国政府が掲げた主要経済指標の目標値と実績値

年度	国務院政府活動報告 公表期日	GDP成長率 (%)		消費者物価指数 (CPI)(%)		都市部新規雇用 者数(万人)		都市部登録失 業率(%)	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
2003	2003年3月5日	7	10.0	-	1.2	-	859	-	4.3
2004	2004年3月5日	7	10.1	-	3.9	900	980	-	4.2
2005	2005年3月5日	8	11.4	4	1.8	900	970	4.6	4.2
2006	2006年3月5日	8	12.7	3	1.5	900	1,184	4.6	4.1
2007	2007年3月5日	8	14.2	3	4.8	900	1,204	4.6	4.0
2008	2008年3月5日	8	9.7	4.8	5.9	1,000	1,113	4.5	4.2
2009	2009年3月5日	8	9.4	4	▲ 0.7	900	1,102	4.6	4.3
2010	2010年3月5日	8	10.6	3	3.3	900	1,168	4.6	4.1
2011	2011年3月5日	8	9.5	4	5.4	900	1,221	4.6	4.1
2012	2012年3月5日	7.5	7.9	4	2.6	900	1,266	4.6	4.1
2013	2013年3月5日	7.5	7.8	3.5	2.6	900	1,310	4.6	4.1
2014	2014年3月5日	7.5	7.3	3.5	2.0	1,000	1,322	4.6	4.1
2015	2015年3月5日	7	6.9	3	1.4	1,000	1,312	4.5	4.1
2016	2016年3月5日	6.5-7	6.7	3	2.0	1,000	1,314	4.5	4.0
2017	2017年3月5日	6.5	-	3	-	1,100	-	4.5	-

出所：政府活動報告各年版、国民経済・社会発展統計公報各年版に基づき筆者作成

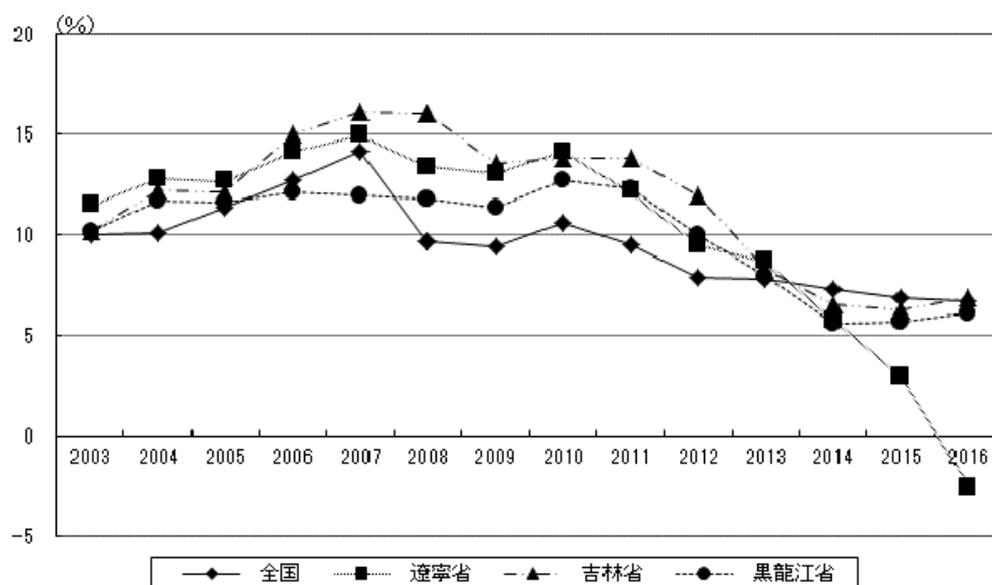
## OECDの高所得国ならびにBRICS諸国の投資－消費比率の推移



出所：世界銀行のデータベースWDIのデータより筆者作成

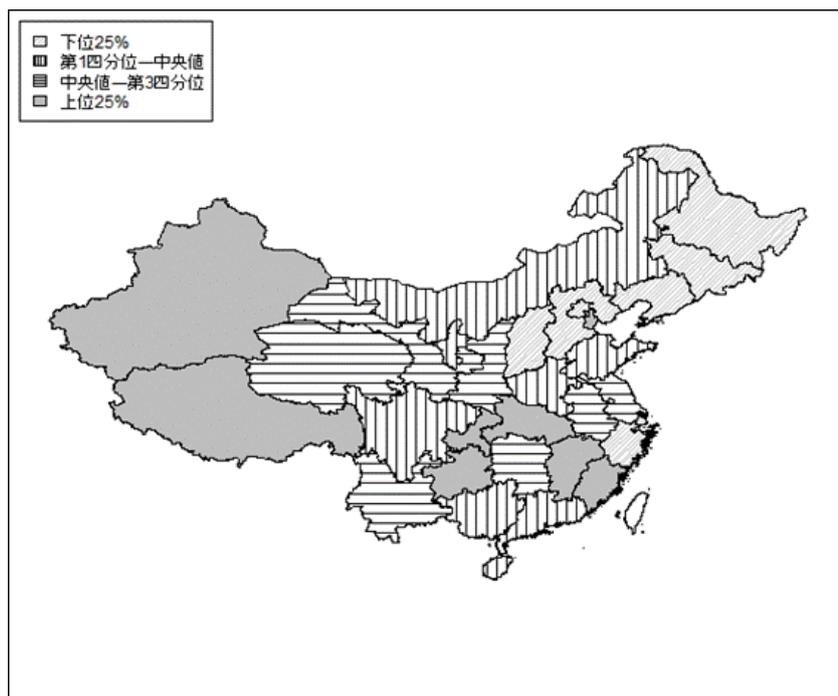
<http://databank.worldbank.org/data/reports.aspx?source=wdi-database-archives-%28beta%29>、2016年12月15日確認

### 東北3省の経済成長率の変化



出所: 中国国家统计局ウェブサイトのデータより筆者作成

### 各省のGRP成長率(2013-2015年の平均値)



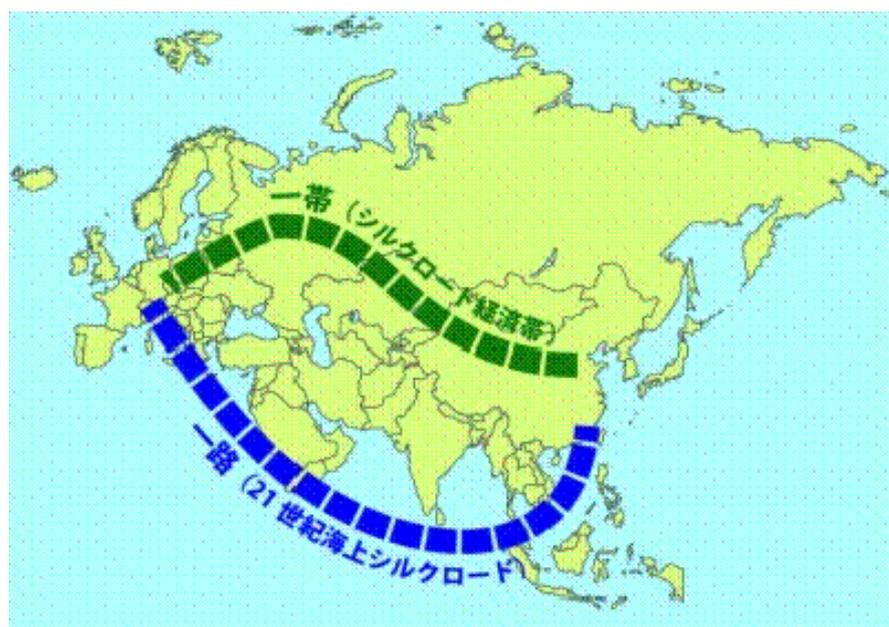
出所: 中国国家统计局ウェブサイトのデータより筆者作成

## 中国における地域政策の展開

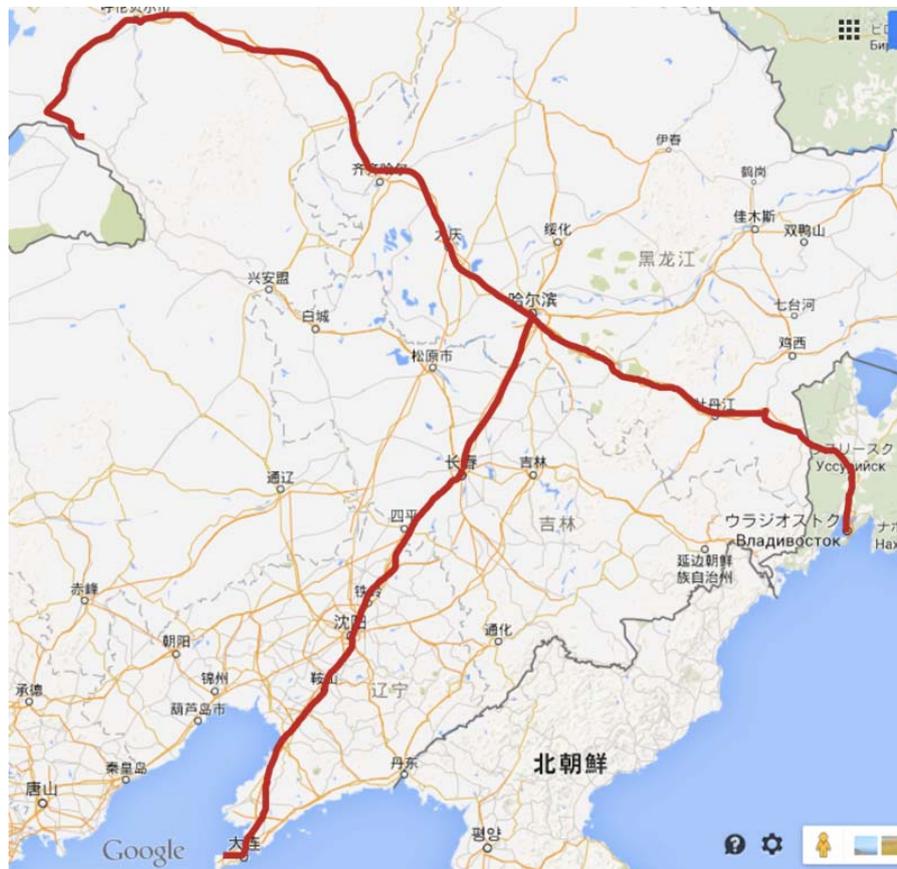
時期	政策の理念	政策の内容	代表的な政策
1953－1964年	産業配置の空間的均衡	全国基本建設プロジェクトの中西部への重点的配置	第一次五カ年計画、第二次五カ年計画等
1964－1978年	国防重視	沿海地域の産業を強制的に内陸部へ移転させる	三線建設
1978－1992年	開放政策の試み・実行	外国資本・技術の誘致、国際市場への参入	改革開放、経済特区、沿海開放都市等
1992－2000年	成長牽引地域の育成	沿海地域に対する積極的な政策支援、財政移転	上海浦東新区、天津濱海新区等
2000－2008年	地域格差の是正	内陸地域に対する積極的な政策支援、財政移転	西部大開発、東北振興、中部崛起
2008－2015年	多様な地域発展モデルの形成	地方レベルの発展戦略に対する中央政府の認可	広西北部湾経済区発展規画等(100件余)
2015年－現在	地域経済の一体化	インフラの疎通、発展戦略の協調、行政障壁の打破	一帯一路、長江経済帯、京津冀協同発展

出所:筆者作成

## 「一帯一路」の概念図



出所:ERINA作成



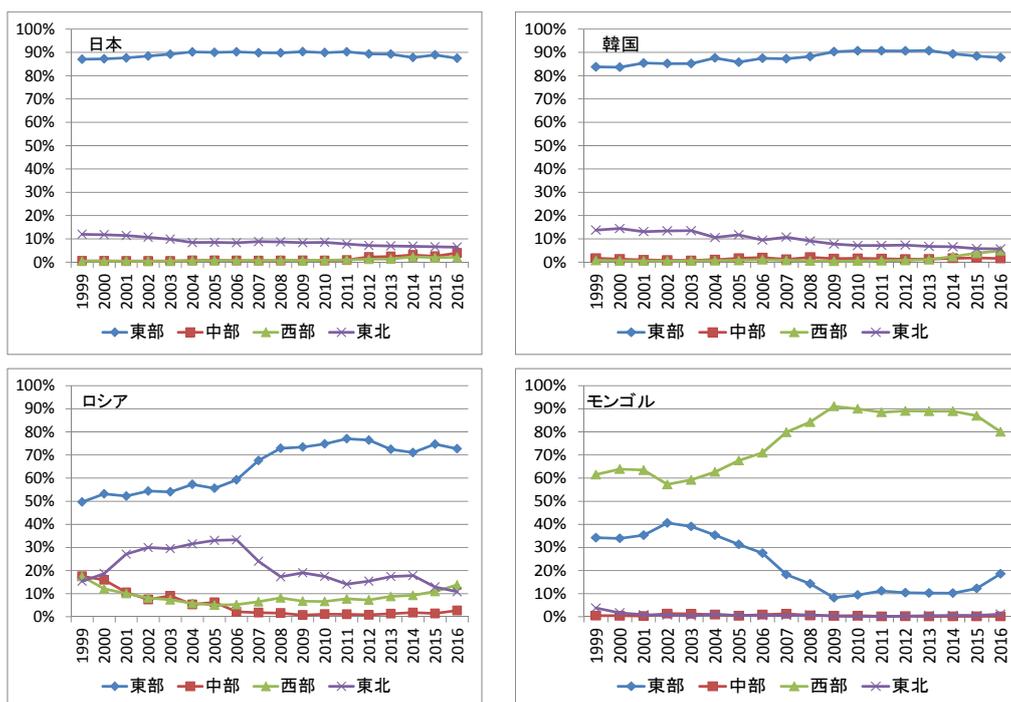
出所: <http://choyu.hatenablog.com/entry/2015/05/10/220301>

### 「長江经济带」の位置図



出所: 中華人民共和国中央人民政府ホームページ ([http://www.gov.cn/zhengce/2014-09/25/content\\_2755974.htm](http://www.gov.cn/zhengce/2014-09/25/content_2755974.htm)、2018年5月15日確認)より。

## 中国の各地域における北東アジア諸国への輸出の割合



出所: Global Trade Atlas (Global Trade Information Services社) 貿易データベースより

## まとめ

1、中国経済は「新常态」と呼ばれる中高速成長期に入っているが、中国の経済構造は急激に変わるものではなく、その強みと課題がすぐになくなることではない。

2、地域の視点から中国経済の構造変化を分析すると、中国の地域経済は大きな変容を遂げており、これまでの沿海・中部・西部・東北という枠組みで捉えきれない、多様で複雑な形で変化している。例えば、投資偏重の度合いは各省で大きなばらつきがあり、投資偏重の度合いが低い地域は先進的な特徴をもつ地域である。「地域経済一体化」はキーワードとなり、「三大戦略」の実施などに伴って各地域の経済はダイナミックに変化し、将来の中国の経済地図が大きく変わる可能性がある。

3、「地域経済一体化」を進める「一帯一路」は、東北地域にとって国境開発を中心とする国際協力策と大都市を中心とする国内開発策を結合させた地域発展戦略でもある。東北地域は、北東アジア各国との協力を促進するとともに、国内の地域間連携も促す必要もある。

4、「一体化」の下では、歴史的・文化的・地理的な近接性による国際連携の競争優位は次第に減退し、グローバルの中で国際分業に参入するための産業競争力の強さが決め手となる。